

京都観香かんこう



Kyoto's world of
fragrance



生島あゆみ
Ayumi Ikushima



海外VIP専門のツアーガイドが教える、
香り豊かな京都の隠れた名所を巡る旅

作曲家・東京藝大特任教授 せん じゆ あきら 千住明さん推薦!

「京都を辿るあなただけの香りの旅。

この本から懐かしく思い出す香りは、
前世の記憶かもしれません」

宝島社

33の香りを巡る
4コース、
全スポットの
地図付き!

18

【御香水】

Historical
underground water

伏見の地に流れる
きめ細やかで甘く
まろやかな石井の香水

御香宮神社から湧き出した
香り高い「石井の名水」

盆地である京都は「京都水盆」と呼ばれ、地下水の貯水量は琵琶湖の水量に匹敵すると言われています。その南側に面しているのが伏見です。

伏見という地名は、伏水ふしづみからきています。伏見の東に横たわる桃山丘陵を通った清い水が、水脈となって地下に深く息づき、山麓近くのこの地に、湧水わづみとなって現れます。

水質はカリウム、カルシウムをバランスよく含んだ中硬水。酒の発酵がおだやかに進み、きめの

細かいまろやかな風味を醸し出すので、京料理に合う酒造りには欠かせない水とされています。

貞観4（862）年、香り高い御香水が湧き出したと伝えられるのが「御香宮神社」です。「香」の良い香りが四方に漂ったことから、清和天皇から名をいただき「御香宮」と名づけられました。

御香水は「石井（岩井）の水」と呼ばれ、白菊井、春日井、常磐井、苔清水、竹中清水、田中清水とともに「伏見七ツ井」の水のひとつ（伏見の七名

酒どころである伏見は、名水で知られている。わざわざ汲んで持ち帰り、茶道、書道用に使われることも多い。

御香水の香スポット

境内の中に伏水がある

御香宮神社

Gokonomiya shrine





水)。昭和60（1985）年に「名水百選」にも選ばれています。石井の水に強い香りはありませんが、伏見の水らしい、優しく甘い伏水（地下水）です。

諸国を旅した猿回しが疲れて倒れてしまったところ、猿がこの水を猿回しに飲ませたら元氣になったという言い伝えがあり、病氣平癒の水とされています。

名水の基本は「無色、無味、無臭」ですが、上質の水とされるのは中に含まれるミネラルの微妙なバランスであり、それが香水と言われる所以か

一方、世界へ能を発信するために、アメリカのデトロイトやヒューストンでの「土蜘蛛」の演能をはじめとして、海外公演も積極的に行っています。

● 御香宮神社

初めは御諸神社と称した。神功皇后が臨月の際に朝鮮へ出兵し、その後無事に出産したことから、安産の神として祀られたという。

御香宮神社の水は「石井の御香水」と言われ、伏見の七名水のひとつである。伏見の酒どころの中心地にあたり、その霊水信仰も篤い。明治以降に水は濁ってしまったが、昭和57（1982）年に復元された。本殿は徳川家康の命により、また表門は初代水戸藩主徳川頼房によって寄進され、どちらも重要文化財である。

600年ほど前より、能楽の前身である猿楽が盛んに行われていたことが『看聞御記』に明記されている。時代の流れの浮き沈みはあったにせよ、猿楽時代から現代まで、催能されてきたことは注目すべき点である。

もしれません。

能舞台で華麗に舞われた 由緒ある「天鼓」の題目

能楽師の杉浦豊彦氏と御香宮の関係は深く、神社内で仕舞、謡の稽古場をもち、600年以上続く由緒ある御香宮神社の神能に関わっています。平成28（2016）年9月22日に、杉浦氏はこの能舞台で、水にゆかりのある「天鼓」という題目を舞いました。

杉浦豊彦氏の祖父は杉浦家初代で、25世宗家より雪号を与えられ、「友雪」と名をりました。また、祖母は京舞井上流4世で、人間国宝の井上八千代さんです。幼い頃から能の家系に育った杉浦氏は、3歳で初舞台を踏み、8歳から成人までに、シテを25番演能するという偉業を成し遂げました。

また、日本文化の源流である能楽を広く知ってもらうために、仕舞や謡の稽古教室を各地で開き、初心者にも優しい「鳴滝能」を開催しています。



information

御香宮神社の伏水会が主催する、スタンプラリーが季節限定で行われている。伏見の名水10か所を巡って水を飲み、スタンプを集めていく。商品や記念品もあり、観光で水を飲み歩くというおもしろい試みである。楽しく遊ぶのはもちろんのこと、水の大切さ、ありがたさを知り、貴重な水を維持する努力を学ぶことができる。



紹介者 杉浦豊彦

能楽師親世流シテ方
Toyohiko Sugiura
(Kanze school Noh actor)

京都生まれ。25世宗家親世左近の内弟子となり独立。現在は26世宗家親世清和に師事。「道成寺」「翁」「望月」「正尊」「安宅」「求塚」「砧」などの開曲をはじめ122曲、のべ240番の演能を果たす。その迫力とキレのある型には定評がある。